

望遠鏡越しの感動を皆さんと共に！ 川本 英郎さん(松阪)

小学校の時、祖父に買ってもらった望遠鏡で、初めて月を見た。一瞬だったが「凄い！」の一言。しかし大人になるにつれ、当時の感動も忘れてしまっていた。

子供が学校で天文台の話聞き、近くにあるのならと、天文台へ向かいました。月を見せて頂いた瞬間、昔の感動が蘇ってきました。その後は、子供そっちのけで天文台通いに。

松阪市天文台はボランティアで運営されていることから、いつしかメンバーになり、今では天文台に来て頂いた方々に、子供の頃に感じた感動をお話し、一人でも多くの天文ファンを増やす活動をしています。松阪市天文台は中部台公園の中にありますので、是非、お越し下さい！

毎週土曜日の19時～21時に開催で、土曜日が5回ある月は、1週目はお休みとなります。

写真は来訪者に説明する川本さん(黒のジャンパー)



四季の自然を楽しめる バード・ウォッチング！ 酒井 典夫さん(伊賀)

退職を機にウォーキングを始めたのがきっかけで、ただ歩くよりもと思い、カメラ片手に近くの里山の風景を撮り始めました。季節に応じて沢山の鳥がいることが分かり、写真を撮っては種類を調べたり、フェイスブックに上げたりしていると友人から

「三重にはシジュウガラが居ないことになっているよ！」と言われ、野鳥の会が会員からの情報に基づき、生態マップを作っていることを知りました。野鳥についての詳しい知識や自然保護についての情報が会報に掲載されており、さらに知識を深めるのに良い機会だと思い、『三重野鳥の会』に入会しました。その後、コロナ禍で野鳥観察が中止となり、現在は、本格的な活動はできておりませんが、健康と美しい四季の自然を楽しめる趣味として、今後もバード・ウォッチングを続けてゆきたいと思っております。



酒井さんの撮影された ㊦: チョウゲンボウ(小型のハヤブサ類)と ㊦: シジュウガラ

ものがたりの主人公を折り紙で表現！ 山田 直美さん(松阪)

退職後の60歳から、子供が好きだったので、明和町の斎宮小学校の学童保育に勤めましたが、新型コロナの拡大と共に退職をしました。

勤めていた時、低学年の生徒に「花ゴマの折り紙」をもらって、面白みを覚えてから、広く興味が湧き、色々な折り紙作りに挑戦をしてみました。

特に絵本の物語などを何とか折り紙で表現できないか！と工夫を重ねました。その代表作は“はらぺこ あおむし”です。写真㊦: 山田さんと代表作



(2021年12月2日以降)

三重支部の現況

(2022年2月1日現在)

- ・会員数 総数:559名 (津・北勢地区:78名・松阪地区:261名・中南勢地区:101名・伊賀地区:119名)
- ・新入会員 (松阪) 北川 博己さん、森若 圭司さん、(伊賀) 関 経寛さん、末廣 峰子さん
- ・転出 中谷 圭一さん (松阪 → 茨城県へ)